



連合徳島

vol. 321

〒770-0942 徳島市昭和町3丁目35の1
徳島県労働福祉会館内
tel. 088 (655) 4105
fax. 088 (655) 4113
E-mail info@tokushima.jtuc-rengo.jp
http://tokushima.jtuc-rengo.jp/

発行：日本労働組合総連合会徳島県連合会

編集責任者 島 和 久



当面の日程

- 1月6日(木) 2022新年旗開き(徳島グランヴィリオホテル)
- 2月4日(金) 2022春季生活闘争開始宣言徳島集会・「連合白書」学習会(徳島県労働福祉会館別館5階ホール)
- 2月19日(土) 徳島県中小労働対策本部第31回定期総会・研修会(ふれあい健康館)
- 3月4日(金) 2022季生活闘争勝利3.4徳島県総決起集会(徳島グランヴィリオホテル)

※わたしのゆめ」絵画コンクール作品募集中!
詳細は連合徳島のホームページをご参照ください。



2022 新年のご挨拶

日本労働組合総連合会
会長 芳野 友子

謹んで新春をお祝い申し上げます。昨年、一昨年と新型コロナウイルスの感染拡大に伴う未知の出来事の連続に、大変なご苦労・ご奮闘を続けてこられたと思います。心より敬意を表します。

今期の運動方針では、コロナ禍が浮き彫りにした諸課題に向き合い、新しい運動スタイルを構築しつつ、「すべての働く仲間をまもり、つなぐための集団的労使関係の追求と、社会に広がりのある運動」、「安心社会とディーセント・ワークをまもり、創り出す運動」および「ジェンダー平等をはじめとして、一人ひとりが尊重された『真の多様性』が根付く職場・社会の実現」などの推進を掲げています。

誰一人取り残されることのない、持続可能で包摂的な「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて、「必ずそばにいる存在」として、すべての働く者の代表として、ともに着実に前に進んでまいりましょう。本年も連合に対する一層のご支援をお願いするとともに、皆さまの益々のご健勝とご活躍を祈念いたします。

11月26日、徳島グランヴィリオホテルで新型コロナウイルス

リオホテルで新型コロナウイルス

に選出された。



大谷会長の発声で団結ガンパロー

イルス感染拡大防止の観点から、各構成組織から1名が出席する代表議員制にて連合徳島第33回定期大会を開催した。

大谷会長からの挨拶では「第49回衆議院選挙にて、連合徳島が推薦した徳島第2区の中野まゆみ氏の当選を勝ち取ることはできなかったが、徳島第1区の結果については喜ばしい結果となった。総選挙の日程が予想より前倒しとなった中で、各構成組織・地協の皆様のご協力に感謝する。全国の選挙結果は自民・公明に絶対安定多数を超える議席獲得を許し、日本維新の会が躍進しただけで、国

安心社会へ 新たなチャレンジ
すべての働く仲間とともに「必ずそばにいる存在」へ、を
スローガンに社会に広がりのある運動の推進を

連合徳島第33回定期大会



各構成組織から選出の代表代議員53人が参加

民民主党は少し伸びたものの立憲民主党に至っては改選前から14議席を減らす結果となったが真摯に受け止めて今後の運動に繋げていかなければならない。阿南市議会議員選挙においては、推薦の橋本ゆきこ氏、藤本けい氏、福谷みきお氏3名全員の当選を勝ち取ることができた。ただ、藍住町長選挙において推薦した、みわ浩美氏の当選を勝ち取ることができなかったが、改めて、ご支援頂いた各構成組織・地協組合員をはじめ、すべての皆様に重ねて感謝する。全国一般徳島地方労組内で発生したハラスメント・誹謗中傷・人権侵害について、連合徳島は現在「特別委員会」を設置し、今回のハラスメント事案に対する見解と再発防止の考え方を示すために調査と議論を進めている」と述べたあと、自身の体調についても説明をした。

政検討委員会報告と役員推薦委員会報告がされた。議事では、島事務局長から第1号議案・連合徳島2022年度〜2023年度運動方針(案)の重点分野として、「すべての働く仲間をまもり、つなぐための集団的労使関係の追求と、社会に広がりのある運動の推進」「安心社会とディーセント・ワークをまもり、創り出す運動の推進」「ジェンダー平等をはじめとして、一人ひとりが尊重された『真の多様性』が根付く職場・社会の実現」等について提起した。続いて、辻財政局長から第2号議案・2021年度連合徳島一般会計剰余金処理(案)、第3号議案・2022年度連合徳島会計予算(案)、第4号議案・2022年度〜2023年度役員選出(案)について提案した。その後、大谷会長から第5号議案・表彰(案)について提起し、満場の拍手で承認され退任となった田村元副会長(JP労組)、松本元副会長(自治労・県職労)の2名が表彰された。第5号議案・顧問の委嘱(案)についても承認され、新居元会長に顧問を委嘱した。

旧役員のご挨拶では、退任した松本光弘(自治労・県職労)と合田泰弘(運輸労連)が挨拶。大会宣言(案)を藤田副会長が提案し、満場の拍手で採択され、原内副会長の閉会挨拶の後、大谷会長の団結ガンパローで閉会した。

新年明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては新たな気持ちで新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。また、旧年中は、連合徳島の運動に対して格別のご支援、ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、結成30周年を迎えた連合が提起した、「連合ビジョン」働くことを軸とする安心社会―まもり・つなぐ・創り出す―は、これまで連合が運動の基軸としてきた価値観を継承・深化させ、2035年を展望した社会像を描き出しました。

提起の背景には、この間、市場原理主義が世界を席巻してきた中、わが国における不安定雇用の拡大と中間層の収縮、貧困・格差の拡大がありました。また、加速する人口減少・超少子高齢化をはじめ、遅々として進まない社会的セーフティネットの機能強化、個別企業の競争力確保の取り組みを超越する産業構造の転換とギグエコノミー(従来の働き方である「会社」に雇われて長期的な仕事を行う)とは異なり、オンライン上のプラットフォーム等を通じて短期的な労働がおこなわれる市場のこと)の進展、地域を育むコミュニティの劣化など、社会経済の持続可能性に対する強い問題意識がその裏付けとなっています。

労働力は社会経済の成長と発展に欠かせない要素ですが、わが国は人口減少下であり、情報技術のさらなる革新は、相対的に前向きに受け止められてきました。しかし、飛躍的な生活者の利便性向上が期待される一方、労働の未来にもたらす負の側面が不安視されています。人間本位の技術革新のあり方とその追求が一層、重要性を増しています。

一方、世界では気候変動に伴う自然災害の頻発・激甚化、紛争やテロ、そして、一般市民への弾圧や人種差別の拡大など、極めて深刻な事態が顕在化しています。これらの課題解決には、国際社会の協力と行動が不可欠です。同時に、これら課題の背景に潜む、自然環境に対する不寛容、短期的な視座にもとづくポピュリズム的な政治勢力の台頭、国家間、民族・人種間などの対立と分断など、国際社会が自ら招いてきたとも言える現実から目を逸らすことは許されません。

こうした中、SDGs(持続可能な開発目標)の推進やESG投資(従来の財務情報だけでなく、環境 Environment・社会 Social・ガバナンス Governance 要素も考慮した投資)の拡大など、世界全体の包摂的な成長と平和の実現に向けた動きへの期待が高まっています。その中で、社会課題の解決に私たちの労働運動はいかなる貢献ができるでしょうか。私たちには、労働運動という社会的資源を、多様性にもとづく誰もが安全・安心にくらせる社会づくりに活かし、健全な民主主義を牽引していく役割があるはず。今後とも連合徳島が、すべての働く仲間とともに「必ずそばにいる存在」となるよう努めてまいります。

今年が皆様方にとりまして良き年になりますようお祈り申し上げますとともに、私たち連合運動に対する皆様方の一層のご理解とお支えをお願い申し上げます。



日本労働組合総連合会
徳島県連合会
会長 大谷 竹人

すべての働く仲間とともに「必ずそばにいる存在」へ

2022春季生活闘争県共闘会議発足総会

2022春闘スローガン

「未来をつくる。みんなのでつくる。」

2021年12月10日、徳島県労働福祉会館502会議室にて、「2022春季生活闘争徳島県共闘会議発足総会」を感染症拡大防止の観点から規模を縮小して開催し、連合徳島構成組織等から25人が参加した。



2022春闘共闘会議議長に就任した大谷会長

22春闘は2年続けてコロナ禍の中での闘争となり産業によって依然厳しい状況におかれているところもあると言え、昨年とはかなり状況が異なることを認識している。GDPは回復途上にあり、2021年度末にはコロナ前の水準をほぼ回復するとも見られている。労働組合は、しっかりと賃上げを含め「人への投資」を求めていかなければならない。また、自らの企業状況や雇用・労働のあり方について、現状を認識し、その上で5年後10年後の未来の姿を描き、そこに到達する道筋を考えていく、この作業を労使で共有してこそ未来はつくれる、との思いから連合全体として2022春闘では「未来づくり春闘」

を掲げ、すべての組合が賃上げに取り組みむとともに集団的労使関係を広げていくことが重要である。徳島県春闘共闘会議は一体となり全力で取り組み闘っていく。」と挨拶。

島事務局長からの総会議案提起では、2022春季生活闘争の方針として「未来をつくる。みんなのでつくる。」の2022春季生活闘争スローガンのもと、コロナ禍にあっても「働くことを軸とする安心社会」の実現に向け、働く仲間が共闘して未来への一歩を踏み出す。すべての組合が賃上げに取り組み「底上げ」「底支え」「格差是正」を加速させて分配構造を転換する突破口とする。2022春闘の基盤整備として「雇用の維



各構成組織から25人が参加

持・創出、社会的セーフティネットの維持・強化、労使協議の実施「サプライチェーン全体で生み出した付加価値の適正分配」「賃金水準闘争を強化していくための取り組み」「集団的労使関係の輪を広げる取り組み」を展開していく。」と述べ、徳島県共闘会議は①「賃金要求」②「すべての労働者の立場にたった働き方」の改善③「ジェンダー平等・多様性の推進」について、具体的な労働条件の要求内容と行動計画および闘いの体制を確認し、大谷会長の団結ガンバローで発足総会を終了した。

徳島労働局と労働問題連絡協議会を開催

2021年10月18日徳島労働局との労働問題連絡協議会を開催し、中川副会長を筆頭に10人が参加した。

伊藤徳島労働局長のあいさつの後、連合徳島を代表し中川副会長から、「コロナウイルス感染拡大5波により国民生活は大きな影響を受けている。自治体にお

いても職員数の減により臨時職員を雇用しているが、時給1,000円以下で単年度更新である現状を踏まえると全体の底上げが必要と考える。誰もが安心して幸せな人生となるよう問題解決に向け議論したい」とあいさつした。

その後「雇用環境・均等室」「労働基準部」「職業安定部」から法改正のポイントや徳島県内における雇用や労働状況について説明を受け、意見交換に移った。参加者から①コロナ後遺症による労災認定の現状について②増えた労災の詳細について③SDGsの取り組みについて④助成金の周知方法について⑤発注者会議について⑥計画年休5日取得状況などの質問に対し、労働局側から一定の考え方や方向性が示され終了した。



連合徳島執行部から11人が参加

10月街宣

ディーセントワーク 全国一斉行動

2021年10月13日、JR徳島駅前で「クラシノソコアゲ応援団！RENGOキャンペーン」徳島駅前街宣行動を開催し、連合徳島各構成組織等から21人が参加者し、「ディーセントワーク／働きがいのある人間らしい仕事」「徳島県最低賃金824円が10月1日から発効」について、アピールボードを掲示し周知活動を行った。

冒頭、連合徳島小合副会長から、連合が全国各地でディーセントワーク／働きがいのある人間らしい仕事の実現を求めた行動の紹介事例として連合加盟である茨城県内の大型家電量販店3社の労働組合が、会社側と労働条件の交渉において、契約期間の定めのないフルタイムで働く組合員の年間所定休日に関する労働協約



アピールボードを持って県民に周知

12月街宣

職場のハラスメント撲滅 月間・雇用保険等を周知

「クラシノソコアゲ応援団！RENGOキャンペーン」徳島駅前街宣行動を2021年12月3日徳島駅前にて開催し、連合徳島各構成組織等からの21人が参加し、「STOP！THE格差社会」NOハラスメント」等のアピールボードを使って周知活動を行った。

冒頭、連合徳島大谷会長から、「新型コロナウイルス感染症対策として設けられた『休業支援金』や『雇用調整助成金』の財源は雇用保険であり、その財源が不足している状態にある。『休業支援金』の支出は、今年9月中旬までに1,800億円超、『雇用調整助成金』についても、4兆4,654億円となり、雇用保険財政が



道行く人にアピールする弁士ら

阿南市議会議員選挙

連合徳島推薦候補全員が当選

2021年11月7日告示、14日投票となった阿南市議会議員選挙において、連合徳島推薦立候補者全員（橋本ゆきこ・藤本圭・福谷みきお）の当選を果たすことができた。

出身組織・推薦組織はもとより、連合徳島構成組織における支援組織としての全面的な協力に心より感謝する。

橋本ゆきこ (1,668票3位)

藤本圭 (1,467票7位)

福谷みきお (791票26位)

2022年度活動方針 満場一致で承認

女性委員会第33回定期総会

2021年12月6日、連合徳島女性委員会第33回定期総会を労働福祉会館502会議室において、議長に自治労の藤川真紀さん、大会運営委員に全国一般の川田真琴さんを選出し開催した。



藤田委員長団結ガンパロー

開会にあたり連合徳島女性委員会藤田委員長は、「第49回衆議院選挙においては、徳島2区に連合徳島が推薦する「中野まゆみ」さんを擁立し闘ったが残念な結果となった。徳島1区は「仁木博文」氏が無所属で立候補し、選挙区で初当選した。また、阿南市議会議員選挙においては推薦候補者全員「橋本ゆきこ」「藤本圭」「福谷みきお」氏が当選。藍住町長選挙で連合が推薦した「みわ浩美」さんは善戦及ばず惜敗となった。来夏に行われる第26回参議院議員選挙において、連合の推薦する候補者への支援をお願いする。

自治労全国一般において、当時の委員長による書記次

連合徳島地域ユニオン 第13回定期大会

2021年12月17日、連合徳島会議室において、連合徳島地域ユニオン第13回定期大会を開催し、地域ユニオン組合員等8名が参加した。冒頭、連合徳島地域ユニオン執行委員長から、1年間を振り返り、2021年の地域ユニオンを取り組むこと、2021年「労働組合基礎調査」の結果から「労働組合員数1,000万人は維持するも推定組織率は低下しており、女性の労働組合員数は増加となっているがパートタイム労働者は減少となっている。引き続き総力を挙げて組織拡大に取り組み、集团的労使関係の輪を広げすべての働く仲間をまもることで「働くことを軸とする安心社会」の実現をめざす」と挨拶した。



島執行委員長の発声で団結ガンパロー

続いて、メッセージ披露のあと、2021年度活動経過報告・2021年度会計報告・2021年度会計監査報告を松本会計監査から報告した。

2021年12月6日、徳島県労働福祉会館502号

柔軟で力強い組織づくり、 運動強化へ意思統一

青年委総会

2022年度活動方針案・2022年度会計予算案・2022年度役員体制案(案)について山本書記長が提案し、参加者全員の拍手で承認され、島執行委員長の閉会挨拶と団結ガンパローで定期大会を終えた。

室において「連合徳島青年委員会2022総会」が開催され、新型コロナウイルス感染症予防を考慮し参加者人数を抑え、各構成組織等から25人が参加した。

冒頭、開会の挨拶を島山幹事(JAM)が述べた後、議長に岡久代議員(電力総連)が選出され総会が進められた。連合徳島青年委員会を代表して小畑委員長(電力総連)は、「しっかりととしたコンセプトを持ってぶれず、その場しのぎの対策や、目先の利益に左右されることなく、変化や失敗を恐れずにチャレンジすることを評価する環境の中、たとえメンバーが変わって

も、高い再現性を発揮できるとも、柔軟で力強い組織づくりが大切である。もし出番が少なくても、くさることなく、人に言われてやるのではなく、自分で考え、可能な形でチームに貢献していく姿勢を持ち、1人ひとりが主役として、しっかりと自己を確立する。また、人に依存せず、チームとして問題解決に取り組み、メンバーの交代等があったとしても、高いパフォーマンスを継続できる、柔軟で力強い組織づくりを目指していきたい。共に頑張っていく」と徳島ヴォルティスの「WE ARE ONE」コンセプトと重ね熱い思いを述べた。

祝電・メッセージを堂免幹事(全国一般)が披露の後、2021年度活動経過報告を新居事務局長(自治労)より報告がされ全員の拍手で承認。

第1号議案・2022年度青年委員会活動方針及び活動計画(案)①基本的な活動について②研修会、交流行事等について③連合本部、連合四国ブロックでの活動について、第2号議案・2022年度連合徳島青年委員会役員体制(案)について提案され、満場の

ける心構えと対処の仕方について皆さんと学んでいきたい」と挨拶。

徳島大学大学院社会産業理工学研究所内海准教授による「コロナ禍におけるメンタルヘルス」をテーマにした講演では「自然災害・特殊災害・人為災害により、脅威が目に見えず大きな社会的混乱や医学的に説明がつかない身体症状、主観的な健康の低下になることがあり、健康・行動・社会・経済への影響に及ぶ。コロナ禍のストレスによる影響では、身

り組みと運営を評価するとともに、活動に感謝する。この後、活動方針と活動計画、新役員体制が決議されるが、これからも力を合わせて青年の立場からも連合運動を盛り上げてほしい」と挨拶。

祝電・メッセージを堂免幹事(全国一般)が披露の後、2021年度活動経過報告を新居事務局長(自治労)より報告がされ全員の拍手で承認。

冒頭、連合徳島山本事務局長からの挨拶のあと、初級・中級の合格者でもある、農協労連広峰副執行委員長を講師に学習会を開催。過去に出された受験問題から20問の模擬テストが行われ、後の答え合わせにおいて、正解の導き方と誤解しやすい点の説明がされた。

「コロナ禍におけるメンタルヘルス」を学習

合同学習会



徳島県中小労働対策本部 清田副議長があいさつ

2021年10月23日、徳島県労働福祉会館502号室にて、徳島県中小労働対策本部、NPO法人徳島労働安全衛生センター、連合徳島青年委員会合同Web学習会を開催し、構成組織等から23人が参加した。

冒頭、主催者を代表して中小労働対策本部清田副議長から「現在、新型コロナウイルス感染症の影響は落ち着いては来たが、集団感染を予防する観点からZoomによる学習会を開催することとなった。様々な災害時にお

体的反応(頭痛・体の痛み・胃の不調・皮膚の発疹)、慢性的な健康問題、精神的な健康状態の悪化、タバコ・アルコールの摂取量の増加に表れる。緊急事態宣言下での調査ではストレスを感じている人の増加がみられ、ストレスを高める原因に「孤独感・フラストレーション・不眠・不安」があげられ、ストレス

緩和には(健康的な睡眠習慣・楽観性)が必要である。ストレスの対処として、情報との付き合い方(事実の把握・動揺させる報道を見る時間を減らす)、身体面(バランスのよい食事・運動・睡眠・タバコ、アルコールの過剰摂取を抑える・定期的な健康診断)、楽しめる活動(リラックスする時間づくり・楽しめる活動)、つながり(信頼する人に相談・ソーシャルメディアでのつながり・状況により専門家への相談)をすることが大切である。」と述べた。

NPO法人徳島労働安全衛生センター森本理事長が閉会挨拶を述べ学習会を終えた。

徳島県中小労働対策本部は2021年9月26日と10月24日の両日に「ワーカーズ検定2021・秋(初級)」の受験に向けて、徳島市内のふれあい健康館第2会議室にてワーカーズ検定学習会を開催し、延べ26人が参加した。

ワーカーズ検定(初級)学習会を2回開催

徳島県中小労働対策本部



各構成組織から延べ26人が参加